

日中韓FTAを生き抜く農業戦略

目次

目 次

はじめに	8
第1章 序論	19
1. 研究の背景と必要性	19
2. 研究の目的と範囲	21
第2章 北東アジア経済協力体の基本概念	27
1. 北東アジアの地理的範囲と地域経済の特性	27
2. 地域経済統合の形態と北東アジア経済協力体	30
3. 北東アジア経済協力の意義と必要性	33
第3章 北東アジア経済協力体スタートの先決課題	39
1. 域内国間の経済発展段階と所得水準の差	39
2. 三ヵ国農業の利害の相反	44
3. 域内国間の信頼基盤のせい弱さ	46
4. 日中間の主導権争いと利害対立	48
第4章 北東アジア域内農業の分業の可能性	53
1. 北東アジア域内農産物の貿易動向と展望	53
2. 北東アジア地域貿易協定の波及効果の比較	56
3. 日中韓三ヵ国の農産物特化の実態	65
4. 農業の域内分業の可能性と展望	70
第5章 北東アジア経済協力体と農業対策	77
1. 域内の農業協力	80
2. 対外交渉への対策	84
1.1 戦略的な地域貿易協定の推進	84

1.2	被害品目の選定	87
3.	国内農業対策	96
3.1	韓国農業の現実と構造調整	96
3.1.1	営農規模と農家所得の両極化現象の深刻化	97
3.1.2	農村の空洞化と高齢化、婦女化現象の加速化	99
3.2	農家経済の実態と所得安定化政策	102
3.2.1	農産物価格の下落と都市農村間の所得格差の拡大	109
3.2.2	農家負債の増加と償還能力の低下	104
3.3	現行の農業政策の問題点	106
3.4	北東アジア経済協力体に対する韓国農業の課題	107
3.4.1	市場指向的農政	108
3.4.2	品質競争力向上のための技術開発投資の拡大	109
3.4.3	農業、農民、農村問題の総合的アプローチ	110
3.4.4	投資誘致環境造成のための農村開発	111
3.4.5	輸出増大に活路開拓	112
第6章	要約および結論	117
1.	要約	117
1.1	北東アジア経済協力体の基本概念	117
1.2	東北アジア経済協力体の創設に対する先決課題	118
1.3	北東アジア経済協力体が農業に及ぼす影響と展望	119
1.4	北東アジア経済協力体の推進にむけた農業対策	120
2.	結論：政策提言	123
付録		129
参考文献		137

表 目 次

第2章

表 2-1. 3ヵ国の北東アジア域内及び域外の輸出比重推移, 1992～2003	— 35
--	------

第3章

表3-1. 日中韓の経済規模の比較, 2003	----- 42
-------------------------	----------

第4章

表4-1. 韓国農産物貿易の北東アジア域内及び域外の増加率, 2000～2004	56
表4-2. 日中韓FTAの波及効果の計測結果	----- 58
表4-3. 中国産主要農産物の輸入比重と輸入形態	----- 63
表4-4. 対日農産物輸出の品目別類型と展望	----- 65
表4-5. 日中韓の農産物貿易収支寄与度 (CTB) 指数, 2004	----- 69
表4-6. 日中韓三ヵ国農産物の補完および競合品目	----- 72

第5章

表5-1. 主要品目の国内外の価格差と譲許関税の比較	----- 89
表5-2. 関税撤廃にともなう品目別の生産者余剰の減少	----- 93
表5-3. 被害品目の分類	----- 95
表5-4. 五分位階層別の農家所得推移	----- 98
表5-5. 年齢別農家人口変化	----- 100
表5-6. 職種別農業従事者数と収入額及び年令の比較	----- 101
表5-7. 農家経済の主要指標	----- 103

図 目 次

第5章

グラフ5-1. 関税撤廃にともなう生産者余剰の変化	----- 91
---------------------------	----------